

【令和7年度 技術科授業改善推進プラン】

技術科で身に付けさせたい力・目指す生徒像

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指す。
基礎的な技能や知識を習得し、身近な生活の課題を主体的にとらえ、具体的な実践を通して、問題を解決する技術を身に付けた生徒の育成を目指す。

学習状況及び課題

	1学年	2学年	3学年
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関心をもって取り組む生徒が多い。 ・立体を瞬時に表現できる生徒が多く、立体を表現、イメージできる力が高い。 ・作業経験の少ない生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字入力や画像検索など、通常のコンピュータ操作はスムーズに行うことができるが、自分たちが日ごろ利用しているコンピュータの仕組みについての理解はあまりない。 ・興味・関心をもって授業に取り組む生徒が多く、与えられた課題に対し真面目に取り組むことができる。 ・ハンダ付け作業が初めてという生徒がほとんどである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少ない授業時間に、集中して取り組み、レポートなどしっかり提出する。 ・興味・関心をもって授業に取り組むことができる生徒が多い。 ・コンピュータ操作には慣れているが、プログラミングに不慣れな生徒が多い。
指導上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・工具、機械の正しい使用方法を教え、安全かつ円滑に作業できるようにする。 ・生活の中の技術分野の技術や役割を意識できるようにする。 ・週1時間で指導内容も多く作業を伴うため、時間的な制約が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工具の正しい使用方法や起こりうるけがを教え、安全かつ円滑に作業できるようにする。 ・週1時間の授業という特性があり、製作や作業も行うので、時間的な制約が大きい。 ・製作に不慣れな部分がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・隔週の授業であるために基本的なスキルや知識の定着が乏しい。 ・プログラミングは学習内容の定着や発展的な学習が難しい。 ・双方向性のあるコンテンツのプログラムで、相互作用の原理を学び、必要なスキルを身に付けられるようにする。

改善プラン

	1学年	2学年	3学年
学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・実物に触れる機会を多くし、体験し、技術と各家庭生活を考えられるようにする。 ・実生活との関連を十分意識して学習に取り組めるようにする。 ・「なぜ」、「どうして」を意識して学習に参加する。 ・失敗して終わりではなく、失敗をいかに改善するかなど最後まで諦めず問題解決に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参考とする資料を用意し、安全に作業を進める。 ・作業は特に安全に留意する。製作工程を理解させ、使用する工具など必要に応じて使用する。 ・生物育成の技術と生活や社会、身近な環境との関わりを理解できるようにする。 ・情報では、身近な課題を設定し、社会に出て活用できる能力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に活用できる技能が習得できるよう、コンピュータに触れる機会を多くする。 ・生活に密着したものである意識やゴールを意識させ授業に取り組む。 ・身近なプログラムを考え、情報と密接な関係に気付くことができるようにする。 ・機能と設備など、機械的な理解を進める。
指導面	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に作業を進めるために実際に作業して見せる。 ・正確に、かつ速く作業することが常に意識できるようにする。 ・大切な工具や部品の名称を正確に覚えるよう板書を工夫する。 ・情報収集とモラルを正しく実践できる力を育めるよう行動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切なソフトウェアを選択し、操作することで、情報処理に必要な技能を習得できるようにする。 ・情報収集とモラルを正しく実践できる力を育めるよう、実践し行動させる。 ・技術と実生活の関わりを常に考えて、授業に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ操作の基本を習得できるようにする。 ・完成を意識し、そこに向かう手立てを考え、適切なプログラムを模索する。そのための命令を伝え実行する。 ・情報収集とモラルを正しく実践できる力を育めるよう、実践し行動できるようにする。

評価

- ① 各学期の定期テストの結果 ② 保存・提出された内容 ③ 実習による技能の習得、作業内容・進捗
④ ワークシート等による実生活への発想及び展開